



38号 令和6年7月3日

＜学校教育目標＞

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立阿賀小学校
安宗 誠



呉空襲から学び続ける

79年前の7月1日夜、約150機の米軍の飛行機が呉市上空に飛来し、おびただしい数の爆弾を投下、街を焼き尽くしました。死者1,000人以上、家を失った人12万人以上とも言われる「呉空襲」。本日正午に、本校でも1分間の黙祷を行いました（大雨による臨時休業のため本日の実施となりました。）。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、2度と戦争を繰り返さない決意を新たにする1日にしたいと思います。

一方では、残念ながら、ロシアによるウクライナ侵攻等、至るところで争いが絶えないのが現実です。また、呉空襲から約80年の年月が流れ、呉空襲体験者からじかにその体験談を聞けなくなる日が来るのもそんなに遠くはない状況です。

このような中でも、平和を訴え続け、守り続けることのできる自分であるためには……。過去の過ちから学び続けているか、知らず知らずのうちに相手のことを思いやっていない自分になっていないか……。そう、自分自身に問いかけ続けることが大事。私自身、そう気持ちを引き締め直したところです。

